

デーリー東北

2025年(令和7年)3月22日(土曜日) (3)

八工大 特定技能エンジニアプログラム



坂本禎智学長（後列左から4人目）から修了証を授与されたミャンマー人の留学生＝21日、八戸市

「1号」取得9人に修了証

八戸工業大（坂本禎智 学長）は21日、「外国人特定技能エンジニアプログラム」の本年度後期の修了式を同大で行い、国内企業で最長5年間働くことができる工業製品製造業の在留資格「特定技能1号」を取得したミヤンマー人留学生9人に修了証を贈った。来年度については、10月から自動車運送業コースを新設して留学生の枠を拡大することができるとしている。

に就職。学費は内定先の企業が立て替え、3年間就業すれば返済が免除となる仕組みだ。さらに、留学生は企業内で特定技能2号取得を目指す。後期は11人が受講し、

本年度の修了生は前期と合わせて16人。来年度前期はミャンマー人11人が受講予定だ。今後のプログラムについて、同大の担当者は「企業からの潜在的な期待が大きいので、留学生の枠を増やしていきたい」と説明した。

（藤村大地）

（藤村大地）

予定。修了者についても、永住可能な「特定技能2号」の取得に向けた支援の在り方を検討していく考えだ。

国内企業で就労できる外国人技術者を、産学連携で育成する同プログラムの本年度からスタート。企業の人手不足の解消などが狙いで、前期（4～9月）は自動車整備と建設、後期（10～3月）は工業製品製造業の全3コースを設けた。

留学生は同大で半年間学び、特定技能1号を取得して青森県内外の企業

うち9人が1号の評価試験に合格し、合格者はいずれも県外企業の就職が決まった。不合格の2人については残る半年の在留期間までに取得を目指すという。

式では、坂本学長が修了証を授与し「産業を支える人材として成長してほしい」と激励。修了生代表で、4月から新潟県内の企業に就職するナンディウィンさん(20)は「夢に向けて大きな一歩を踏み出した。職場で学び、社会に貢献できるようにになりたい」と決意を

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。